

記載例
許可を受けようとする建設業の種類を記載

実務経験証明書

・実務経験により専任技術者になる場合に作成
・工事の種類、技術者、証明者毎に作成

下記の者は、とび土工

工事に関し、下記のとおり実務

令和 3 年 4 月 10 日

○証明者は原則、使用者(被証明者である法人の代表者または個人の事業主)とする
○証明者が申請者以外の建設業者である場合は、
・許可番号
・許可年月日
・許可業種 を記載

岐阜市藪田南2-1-1
岐阜建設 株式会社
証明者 代表取締役 岐阜 太郎
被証明者との関係 従業員

技術者の氏名	宇佐 五郎	生年月日	昭和35年6月20日	使用された期間	H 10 年 4 月から R 3 年 3 月まで
使用者の商号又は名称	岐阜建設 株式会社		証明者から見た被証明者との関係例: 役員、従業員、元従業員		
職名	実務経験の内容		実務経験年数		
工事係員	・実務経験を得た当時の商号または名称を記載 ・個人の場合は登記してある屋号または個人名を記載 (1件)		実際に雇用されていた期間		H 23 年 1 月から H 23 年 12 月まで
"	(有)伊藤商店改築に伴う基礎工事施工(他13件)				H 24 年 1 月から H 24 年 12 月まで
"	県道多治見犬山線改築工事に伴う土工事施工(他8件)				H 25 年 1 月から H 25 年 12 月まで
工事係長	加藤邸新築工事に伴う基礎工事施工(他15件)				H 26 年 1 月から H 26 年 12 月まで
"	多治見橋改修工事に伴う土工事施工(他6件)				H 27 年 1 月から H 27 年 12 月まで
"	岐阜電気基礎工事施工(他12件)				H 28 年 1 月から H 28 年 12 月まで
工事課長	(株)岐阜建設		○実務経験の内容を具体的に記載 ○経験期間が重複しているものは二重に計上しない ○通年にわたって建設工事が続く場合には、その年の代表工事の件名を記載し、その他の工事は「他〇件」として、1年分を1行にまとめて記載		H 29 年 1 月から H 29 年 12 月まで
"	県道多治見犬山線改築工事(他8件)				H 30 年 1 月から H 30 年 12 月まで
"	水野邸新築工事(他12件)		業種の確認が困難な場合等については、契約書又は注文書等を併せて提出する。		H 31 年 1 月から R 1 年 12 月まで
	実務の経験をした時の職名を記載 例:「取締役」「事業主」「現場監督」「工事部長」		工事施工(他12件)		R 2 年 1 月から R 3 年 3 月まで
					年 月から H 年 月まで
					年 月から 年 月まで
					年 月から 年 月まで
使用者と証明者が異なる場合は理由を記載 例: H〇年〇月 会社解散のため H〇年〇月 事業主死亡のため	事業主本人による自己証明の場合は「自営のため」と記載			実務経験年数の合計を記載 ・1年1行として記載する場合を除き、原則として初月は不算入	年 月まで
					年 月から 年 月まで
使用者の証明を得ることができない場合はその理由					合計 満 10 年 2 月

記載要領

- この証明書は、許可を受けようとする建設業に係る建設工事の種類ごとに、被証明者1人について、証明者別に作成すること。
- 「職名」の欄は、被証明者が所属していた部課名等を記載すること。
- 「実務経験の内容」の欄は、従事した主な工事名等を具体的に記載すること。
- 「合計 満 年 月」の欄は、実務経験年数の合計を記載すること。